

市報とす

No.605
昭和63年
1.1

主な内容

- 新春インタビュー山下市長に聞く
21世紀のまちづくり……… 2～4
- 市民健康まつりアンケート……… 5
- この人9、出初め式、成人式……… 6
- 老齢年金の支払いが年6回に……… 7
- とすの長崎街道①……… 8



「ふたあり」九州、山口、沖縄地区から優秀な女流洋画家を発掘しようと長崎県立博物館で開かれた第1回西日本女流美術展で大賞を受賞した木村樹美さん（本通町）の作品。2匹の擬人化された子ギツネが早春の野に遊ぶ様子を、女性特有の感性でふんわりと幻想的に描いています。（木村さんの紹介は5ページに掲載）

《未来都市“北部”》

—— ご就任からもう9か月半、日曜・祝日もなく毎日お忙しきうらしいですね。

市長 休みをもらってじっくり考えたり、本を読んだりしたいんですが、時間がないですね。

—— 鳥栖市は今、大きなプロジェクトをたくさん抱えています、それぞれの計画や特徴についてお話ししていただけますか。

市長 まず鳥栖北部丘陵新都市開発整備事業についてですが、これは今町・相比町を中心とした300弱の地域に産業、学校、住宅などを配したモデル的な新しいまち、しかも自然を生かした住みよいまちをつくらうという計画です。しかし、用地がなければ事業はできません。地権者の方には、先祖代々受け継がれてきた大事な住みなれた土地の提供をお願いするわけですから、今もう一生懸命に用地についての交渉をやっている段階です。

—— 交渉はどの程度まで進んでいるのでしょうか。

市長 全体的には「協力をします」ということなんですが、田んぼを残しておきたいとか、この地域に住みたいとか、それぞれの方の希望がありますので、それを考慮していかなければならないですね。ただ、どうしても鳥栖市の発展のためにはやらなくてはならない大事業だし、ぜひやり遂げたいと思っています。

—— 今のところはまだ同意というところまでは至っていないわけですか。

市長 そうですね。協力しますとい

新春インタビュー

21世紀の

うことです。そしてその次に条件が折り合って、どういうまちをつくりたいということも分かったと、ではそれで同意しよう、それから最終的な契約ということになりますから、まだ入り口に入れていただいたということじゃないでしょうか。

—— 具体的にはどういうまちを考えておられるわけですか。

市長 人口7,000人で家が2,100戸、りっぱな企業も誘致しなければなりませんし、小・中学校とか専門的な学校、研究機関の誘致、公園の配置、福祉の関係でも若楠療育園を核にした“福祉の里、”といった味わいも出していきたい。

実は、これまで全面買収ということで作ってきましたが、先買方式による土地区画整理事業の導入を検討しています。現在そこに住んである方で、その地域に残りたい方については、区画整理で用地を確保して残ってもらおうということです。そのへんを今年はぜひ明らかにして、地権者のみなさんの同意を得たいと考えています。

—— 地権者の方との話し合いが一番大変ですね。

市長 ええ、地権者の代表の方との折衝や地区ごとの説明会などを精力的にやっております。

—— それぞれに希望といいますか、条件がいろいろあるんでしょうね。

市長 すぐお答えできるものもあれば、なかなか難しくずっとのびているものもあるわけでして。



市長・山下英雄 62年3月の選挙で第4代市長に当選（59歳、萱方町）。

—— 産業面ではどういうものが来るのでしょうか。

市長 どういう企業でもいいから来ればいいということではちょっと困りますから、やはり近代的な企業で、安定した企業、地域の人をたくさん雇ってくれるような企業を誘致したいですね。

—— このニュータウンというのは孤立したものなんですか。

市長 ただ工場だけの町とかいうんじゃないくて、工場・学校・研究施設・医療機関・商店・公園などのあらゆる機能を集約した町を考えていますが、鳥栖駅前を中心とした既存市街地との連続性や一体性が当然必要になりますね。

—— 未来のモデル都市ですね。

市長 それを考えまして、下水道も最初からこの中に入れる計画があります。

山下市長に聞く まちづくり



インタビュー・橋本ゆかり 朗
読ボランティアグループ「ゆかり
会」、鳥栖読書会主宰（72歳、本町）。

《具体化する“駅前”》

—— このほかにも大きなプロジェクトがありますね。

市長 そうですね。鳥栖のトライアングル構想と言われているんですが、ひとつは北が今言った“北部”。で、東が“鳥栖駅周辺、西が“新幹線の新鳥栖駅”。この3つが開発の拠点ですね。

鳥栖駅周辺市街地整備事業は、駅前に日本たばこ産業(株)鳥栖工場跡地、南に鳥栖商工団地、その真ん中に旧国鉄の用地がありますから、それを有効に活用して都心地区の整備と活性化を図る計画でして、国の定住拠点緊急整備事業（レインボープロジェクト）地区として認めていただいています。

構想は既にまとまっていますので、今年は総合的な整備計画を策

定することにしており、去年11月に東京で委員の方にお集まりいただいて初の会合を開きました。今年度中には具体的な案がまとまると思います。

—— それも“北部”と同じ昭和75年完成が目標ですか。

市長 目標年次は昭和75年においていますが、土地区画整理事業で基盤整備をやりますから、事業費の精算などを考えますと、最終的な完了は80年と考えています。

それと、もうひとつは新幹線です。ここにもニュータウンづくりの計画をしています。この3つが鳥栖市が抱えている最大のプロジェクトです。わずかに年間百数億円の予算の市で、“北部”も“駅前”も500億前後の膨大な予算を伴う事業ですから、しかもすべて住民の方に土地の提供や住宅の移転などで協力してもらわなければ成り立たない事業ですから大変ですね。

《魅力あるまちに》

—— それだけの大事業であれば、よそからも人が集まる魅力あるまちづくりをしていただきたいですね。

市長 それについては去年の11月に、人間交流都市をつくろうということで商工関係の方が中心になって鳥栖コンベンションシティー委員会が発足しました。物がうごくだけのまちじゃなくて、各種イベントの誘致によって人と情報が交流し合う活気のあるまちをつくろうということなんです。

—— そういった活気のあるまちにすることが、市長さんの一番大きな抱負ということになりますか。

市長 そうですね。ですから、集客性のある施設にはどんなものがあるだろうかと考えているんですが。例えば、県内には動物園も植物園もプラネタリウムもない。そういった中のひとつでもいいから何かこっちでつくれんなあと思ってるんですが。だからといって、山の中にどーんと建て込むのではなくて、自然との調和を大切にしたいですね。よその観光地にしても、あまりにも人工的なものが加えられていて情緒がないんで、自然や歴史を生かしながら、探訪したり散策したりジョギングできる場所があってもいいと思います。

イベントと言えば去年、若いみなさんの発想で、佐賀競馬場の駐車場で国際映画祭がありました。

—— 「ドライブイン・シアタース」ですね。

市長 最初の計画では9月と10月の2回合わせて車1,000台を見込んでいたらしいんですが、初日だけで約1,200台が来ました。その車を見してみると、山口、鹿児島、熊本、福岡と、県外からが多かった。そして、こういう催しをしょっちゅうやって欲しいという意見がありましたね。横断道が全面開通すれば、もっと人が集まり易くなるし、いろんな催しができるようになれば素晴らしいですね。

ただ、集まり易いけれど泊まる場所がない。だからホテルもつってくれという希望が強いですね。

—— 確かに、交通が便利になって他県からたくさんの方が来られる

ということになれば、どうしてもホテルが必要になってきますね。できれば、家族連れで緑の中を散策できるようリゾート的なホテルをつくってもらいたいですね。

市長 必要ですね。それとか宿泊施設のある研修施設なんかですね。

《郷土をみつめ未来へ》

—— 研修と言えば、高齢者の人口が多くなっていますので、お年寄りのための研修施設といいますが、勉強できる場が欲しいですね。

市長 これから先は高齢化社会に向かうことがはっきりしていますので、これからまちづくりには重要な柱として、そのへんもとらえていかなくてはならないと思います。そして、もちろん老人ホームなども大切ですが、健康でいつまでも頑張ってもらえるような施設も必要ですね。それに、体の不自由な方のことも十分考えていかなければなりません。

それと、新しいまちをつくっていくと同時に、このまちこの郷土の歴史といったものを認識しないといけないですね。

—— 歴史を残すということ言えば、歴史博物館などがありますが。

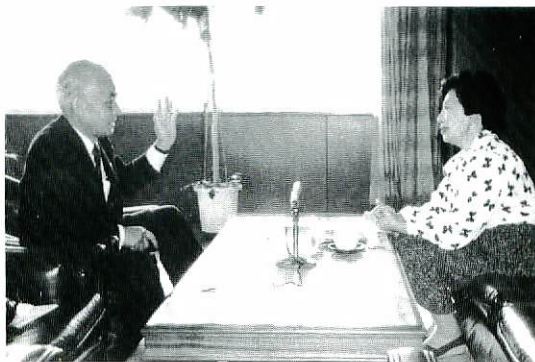
市長 できればそういったものを考えたいですね。「国立考古学研究所」を〓北部。にという陳情もやりました。特に鳥栖地域は考古学上重要な文化財の宝庫と言われていて、それらを体系的に整理できるものが欲しいですね。

—— まだ埋蔵しているものも数多くあるかも知れませんですね。

市長 今度の開発がもし進めば、も

っと驚くようなものが出てくる可能性は十分あります。そういったものは開発され尽くしてからではもう遅いですから、今きちんと調査をして整理すべきではないでしょうかね。銅鐸の鋳造跡が発見されたことなどを考えると、当時は相当ハイテクなまちであったと思われますし。

—— その古代テクノポリスを21世紀の近未来の夢として、実現されようとしているわけですね。



《心と力を合わせ》

—— そのほかにも何かポイントを置いてなさっていることは…。

市長 そうですね。この3つのプロジェクトの他に今、非常に大きな事業をやっておりましては下水道。雑排水などによる河川の汚濁をなくして、清潔なまちをつくるためにも大事な事業ですし、昭和65年3月を一部供用開始の目標にしています。

それに鳥栖市は水が豊富です。これは交通の利便性とあわせて、よそに比べて非常にいい条件ですね。商工団地も満杯になりましたから、今度は西部工業団地にいい企業が来て欲しいですね。

—— 教育面については…。

市長 もっと特色のある教育ができ

ればと思います。あまり画一的ではないかと思いますがね。そうすると、ついつい区域外の学校にみんな走ってしまう。

図書館なんかも、ただ本を収納して、それを見に来るということだけではなくて、各種の情報を取り入れたものを今度つくるときは考えたいですね。

—— これまでも、立派な市民文化会館や社会福祉会館ができて、夢であったようなことがひとつずつ

かなえられてきましたから、いろんなことが夢ではなくなる日も近いんでしょうけれども…。ところで、今の鳥栖市に関しては、やがていいのあるまちでしょうか。

市長 そうですね。みんなで協力し合ってやっていこうという空気さえ生まれてい

けば、非常にいい方向に展開していくのではないかと思います。地の利もあるし、歴史的な深みもある。若い人もたくさんいらっしゃる。新しいまちづくりの計画もある。水と緑も豊富ですね。

—— 最後に、座右の銘とでも言いますか、お好きな言葉がありましたら…。

市長 私は「同心合力。という言葉が好きでして、同じ心で力を合わせるということです。市民のみなさんと心と力を合わせて、まちづくりをしていきたいですね。

ちょうど今年は辰年で私の年です。ので、これは頑張らねばと思っています。

—— 龍が天に昇るような活躍を期待いたしております。



54.6%が「健康に関心」

市民健康まつり
アンケート結果

去年10月25日に市民公園で開いた「第3回市民健康まつり」のアンケート調査結果がまとまりました。

アンケートは当日、参加者に書いてもらい、996人の回答を得ました。調査内容は同まつりについての感想や意見など10項目。

☆多い女性の参加者

参加者は女性が74.7%で、全体的にみても女性が多く思われました。また、参加者の年齢は30代が27.0%、以下10代17.6%、50代15.5%、60代13.0%、40代11.1%、20代7.5%、70代5.5%となっており、特に30代の女性（お母さん）が目立ち、家族そろっての参加が多くなっています。

☆定着してきた健康まつり

参加者の居住地区は、鳥栖・鳥栖北地区が48.6%と約半数、他の地区はいずれも10%前後となっており、過去3回の健康まつりへの参加回数は2回目、3回目を合わせて64.3%と、3人に2人は過去に参加され、ま

りが定着してきていることがうかがえます。

☆参加の動機は「健康に関心」

催しの中で一番興味をひいたもののベスト3は「健康相談」「健康講演」「血圧測定」の順で、健康管理に関するものが上位を占めています。参加の動機は「健康に関心」が54.6%、また、4人に1人は「面白そう」と答えており、祭りの要素による参加者の増加がうかがえます。



☆今後も開催を！

まつりの感想については91.9%が「よかった」と答え、85%が「今後もやってほしい」と、まつりの継続を望んでいます。

国民
健康

保険税は資格ができた月から

1. 国保に 加入する人



各職場の医療保険（健康保険、共済組合、船員組合など）に加入している人や生活保護を受けている人以外は、すべて国保に加入して被保険

者にならなければなりません。

国保では家族一人ひとりが被保険者ですが、加入の届け出は、世帯主がまとめて行います。

2. 届け出は 14日以内に



世帯主は、その家族の被保険者としての資格に異動があったとき、14日以内に届け出をしましょう。

3. 保険税は 資格ができた 月から



他の市町村から転入してきたときや、他の健康保険をやめて国保に加入する場合、国保の資格はその月から発生しますので、届け出が遅れるとその分までさかのぼって負担しなければなりません。

4. 保険税は 納期内に



特別な理由なく保険税を滞納されている場合には、保険証の返還や給付の差し止めなどの制裁処置を受けることがあります。

保険税は納期内に納めましょう。



大賞に木村さん
第一回西日本女流美術展

「受賞の連絡をもらったときはびっくりして、エッ！本当ですかと二、三回聞き返してしまいました。長崎県などの主催で開催された第一回西日本女流美術展で、五百六十点もの応募作品の中から見事、大賞に選ばれた木村樹美さん（本通町、四十八歳）。「絵の仲間たちと出してみたいな」といって、それなら他の人とは違ったものをと、十年前から描いてきたキツネをあしらった、昔をテーマ

にしたがら現代を感じさせるものを描きました。絵は小さい頃から好きでしたが、本格的に習ったのは西日本婦人文化サークルに入ってからで、3年間、青木寿氏に師事。現在は二紀会の同人として活躍中。六十一年の佐賀美術協会展覧会でも大賞を受賞されています。自宅では油絵教室「アトリエ木村」や人形教室を開き、後進の指導に当たられています。

札幌市出身で、鳥栖市民となったのは五年前。二紀会のグループに入ったことと、静かで製作活動がやり易いから一だそうで、健康のため毎朝五時半に起きて鳥栖中学校のグラウンド内を歩くのが日課。大賞をとったおかげで、知らない人や近所の人になれたのかなあと、やっとうれしいですね。作家で文芸評論家のご主人と二人暮らし。

消防出初め式

1/3 (日)午前9時半
市役所前広場

午前9時から消防団員や消防自動車、鳥栖工業高校プラスバンドなど約400人が、鳥栖駅前から市役所までを市中行進します。出初め式では、9時半から入場行進、10時半から五色放水、11時から式典を行い「火の用心」を呼びかけます。

成人式

1/15 (祝)午前10時
市民文化会館

今回の対象者は、昭和42年4月2日から同43年4月1日までに生まれた男子376人、女子472人の計848人で、該当者には既に案内状を送付しています。式典では、記念品贈呈、成人代表の発表、アトラクションなどを行います。当日の受け付けは9時から始まります。簡素な服装で、多数ご出席下さい。

児童の朗読を

テレホンサービス

「川をきれいにする感想文」

NTT鳥栖電報電話局では「川をきれいにする感想文コンクール」の入賞作品13編を児童の声でテープに取り、1月4日からテレホンサービスを行います。電話番号は☎3955。

同コンクールは、県内の河川の水



⑨

障害克服し総理表彰

●——福山政博さん

「障害者の日」の12月9日に東京で開かれた「国連障害者の10年」中間年記念式典で内閣総理大臣表彰を受けた福山政博さん（本鳥栖町、46歳、吉原木工所勤務）。

同表彰は、障害を克服して広く社会活動に参加され、他の模範となっている全国の自立更生者30人に対して行われ、県内からは福山さんただ一人が選ばれました。



福山さんは耳が聞こえないハンディを克服、29年間家具職人として後輩の指導に当たってきたわら、60

年からは県ろうあ者福祉協議会の理事として他の障害者のために活躍されています。これまで、54年の第8回全国身体障害者技能競技大会で県内初の金賞、56年の第1回国際身体障害者技能競技大会でも金賞を受賞、労働大臣表彰も受けられるなど優秀な技術は高く評価されています。

質が環境基準の55.6%と全国平均の67.7%を下回っていることから、県が61年度から鳥栖・基山地区を対象に実施している「環境基準未達成水域対策事業」の一環として、同地区内の小学生から作品を募集したものの。



385編の応募があり、いずれも両親や祖父母との会話のなかから得たものや、学校や家庭での体験をもとにして、水と川の大切さが良く表現されています。

市内入賞者5人のテレホンサービス日程は右の通りです。

- 1月4日～10日「河川観察会に行つて」
優良賞・今泉裕紀子(鳥栖小5年)
- 2月1日～7日「川をきれいに」
優良賞・西優子(基里小5年)
- 2月28日～3月6日「はたるがいっぱい」
優秀賞・酒井 健二(麓小5年)
- 3月14日～21日「川の大切さと心げけ」
優秀賞・西山 裕美(基里小6年)
- 3月28日～4月3日「むかしの川」
最優秀賞・末成 智子(鳥栖小2年)

この間、約八百人の選手が一時間にわたってデッドヒートを展開するため、鳥栖筑紫野有料道路の車線の一部と交差する道路で交通規制が行われます。一時的な交通渋滞が予想されますので、本大会の主旨をご理解いただき、通行に際してご協力をお願いいたします。

なお、大会には遠方からも多くの方が参加されます。市民のみなさんの暖かいご声援をお願いします。

第二十六回鳥栖市祝成人ロードレース大会は、1月15日(成人の日)正午、九工試西側の平塚交差点をスタート。鳥栖筑紫野有料道路をコースに、正応寺インターで折り返すコースに、正応寺インターで折り返すコースで行います。ゴールは五ツで競技を行います。ゴールは五ツで競技を行います。ゴールは五ツで競技を行います。



祝成人ロードレース大会
交通規制と
ご声援のお願い

保健

三種混合予防接種

とき／1月12日(木)午後1時半～2時50分(時間厳守) ところ／鳥栖北公民館 対象者／◎生後24か月から48か月未満までの幼児(1期)◎1期終了後12か月以上を経過した生後72か月未満の幼児(2期) 注意／①次の幼児は今回は接種を受けられません◎1年以内にけいれん(ひきつけ)を起こした幼児◎1か月以内に麻しん・BCG・ポリオの予防接種を受けた幼児や、はしか・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜにかかった幼児②接種には必ず保護者が同伴し、母子手帳を持参下さい③当日は朝起きたらすぐ体温を計り、清潔な肌着を着せておいて下さい 問い合わせ／環境衛生課(☎3559)

胃ガン・子宮ガン・農協検診

今回は鳥栖・鳥栖北地区の方を対

ね

ん

き

ん

老齢年金の支払いが年6回に

旧国民年金の老齢年金(老齢福祉年金、旧陸軍共済組合期間などを含む場合は除く)の支払い月はこれまで年4回でしたが、来年2月から年6回に変わります。

変更後は2月、4月、6月、8月、10月、12月の偶数月に、前月と前々月の2か月分をお支払いすることにな

ります。

なお、大正15年4月1日以前に生まれ方、その後に生まれた方でも昭和61年3月31日に旧厚生年金保険・旧船員保険による老齢年金の受給権がある方または共済組合の退職年金・減額退職年金の受給権がある方(昭和6年4月1日以前に生まれた方に限る)には、旧法の老齢年金が支払われます。

象に行います。

胃・子宮ガン検診と同時に農協検診も行われ、ガン検診のほかに尿、血圧、血液、心電図の検査を受けることができます。特に血液検査は33項目にわたって検査を行います。

とき／1月25日(日) ところ／鳥栖公民館 受け付け／◎午前8時半～同10時＝轟木町・元町・本町・今泉町・真木町◎午前10時～同11時＝上記以外の鳥栖・鳥栖北地区 料金／

◎Aコース(尿・血圧・血液検査)＝一部負担金1,000円◎Bコース(Aコース＋心電図)＝同2,500円◎胃ガン検診500円、子宮ガン検診400円(いずれも70歳以上は無料) 持参品／健康手帳 申し込み／1月16日までに環境衛生課(☎3559)へ

文協ニュース

市文化事業協会☎3645

新春落語◇◇◇

桂米朝独演会



とき／1月9日(土)午後7時 ところ／中央公民館 前売券／2,500円(当日3,000円、全席自由)

園芸教室

都市計画課(☎3603)

＜園芸実演会＞ 実のなる木を育てよう	1月14日(木)	午前9時半～11時	市役所別館男子教養室
	" 6日(木)	"	鳥栖公民館(創作館)
1年の計画を立てよう	" 12日(木)	午後1時半～4時	旭公民館
冬の管理	" 16日(土)	午前9時半～11時	基里老人福祉センター
	" 21日(木)	午後1時半～4時	鳥栖北公民館
冬の松の手入れ	" 20日(木)	午前9時半～11時	田代老人福祉センター

スポーツ

大会成績

■佐賀・神埼・鳥栖対抗親善射会(12月6日、市弓道場。参加33人)
①神埼②佐賀③鳥栖

新春・九重登山

一月二十四日(日)午前七時、市役所前出発。費用は大人三千五百円、子供二千円。参加申し込みは市山岳連盟・楠または西依(☎3543)へ。

高等職業訓練校入校生募集

県立高等職業訓練校(佐賀・多久・唐津の3校)では技能を身につけた方を募集しています。入校生の学歴・性別は問いません。授業料などは無料で、科目は建築、電気、自動車、木工など。詳しくは県労政訓練課(☎095225641)へ。

たすけ合いの輪・全労済の「こくみん共済」「火済共済」

全労済は、厚生省認可で非営利の共済事業を行う生活協同組合です。
◇こくみん共済 月々二万円以下で最高一千万円(交通事故死亡)を保障。
◇火災共済 月々七百元(木造住宅)で一千万円/最高四千五百万円までを保障。

詳しくは佐賀県労働者共済生活協同組合(佐賀市☎095232121)へ。

●3/27(日)第1回「とす弥生まつり」催し募集 市民団体・企業の企画、催しを1月20日までに鳥栖市観光協会(鳥栖商工会議所内☎33121)へ。

とすの 長崎街道

①はじめに



◎交通要衝の地「鳥栖」

窓口を開いていた長崎には、海外からの人物・知識・文化が流入するため、同街道は重要な“文明ロード”となっており、長崎奉行やオランダ使節のキャピタン行列が通る道筋でもありました。

今回から、この街道を往来した人々や文化財、町並みについて触れていきます。

小倉から筑前六宿を通り、六宿最後の宿場・原田宿を経た長崎街道は、肥前・筑前・筑後の3国が接する三國峠を越え、対馬藩基肆父領へ入ります。まず最初に出会

う街は城戸村白坂。ここから街道は現在の国道3号と並行あるいは交差しながら南へ進み、関屋、木山口へ至ります。

関屋は古代基肆駅のあった場所と推定されています。木山口の町並みは千塔山の崖下に並び、江戸時代初期で約20戸、中期で約50戸の集落でした。木山口を抜け、美松橋、高島橋を渡ると、市内最初の町並み・今町へ入ります。

鳥栖地域では、天気の良い日に少し高い山や丘に登ると、東は日田の山々、西は鳥原の雲仙岳まで、つまり筑紫平野が一望に見渡せ、俗に「三前三後——筑前・肥前・豊前・筑後・豊後が望める」と言われます。また「九州のへそ」とも言われるように、九州を東西・南北にはしる交通路が交差しており、古くから交通要衝の地でした。

江戸時代、この地には小倉・長崎間57里を25宿で結ぶ「長崎街道」が通っていました。徳川幕府が鎖国体制をしいていたなかで唯一、海外への



◎街道筋の面影を残す秋葉町の通り



とすの文化財」を再刊

ガイドブック「とすの文化財」をこのほど再刊しました。

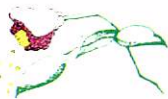
市内の文化財を通して「鳥栖の歴史」をひもときます。文化財と自然を歩くコースの案内と解説も掲載しており、ふるさと再発見に欠かせない一冊です。

大きさはB6判（ビニール装丁）、六十ページで、価格は三百円。市内書店、地区公民館、市教委社会教育課で取り扱っています。

1月の納税

市県民税
(4期分)
国民健康保険税
(8期分)

納期限●2月1日



人口

昭和62年11月30日現在

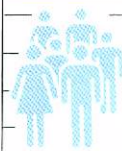
総数 55,648(+23)

男 26,574(+14)

女 29,072(+9)

世帯 16,141(+29)

()内は前月との比較



水道の修繕

管工事協同組合
蔵上町 ☎ 83-5038

午後5時以降と日曜・祝日は次の当番店へ。

1月4日～15日／中島商会(東町 ☎ 83-2421) 16日～31日／鳥栖設備工業(真木町 ☎ 83-3177)